

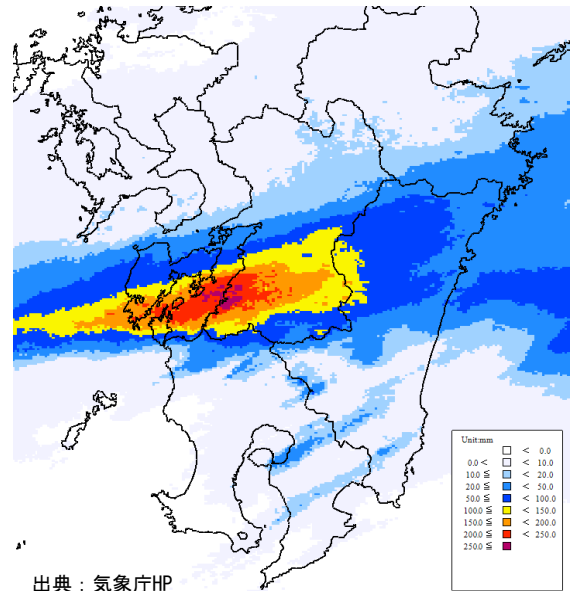
令和2年7月豪雨における活動

◎令和2年7月豪雨の概要

7月3日から8日にかけて、梅雨前線が華中から九州付近を
通って東日本にのびてほとんど停滞した。前線の活動が非常
に活発で、西日本や東日本で大雨となり、特に九州では4日
から7日は記録的な大雨となった。気象庁は、熊本県、鹿児島県、
福岡県、佐賀県、長崎県、岐阜県、長野県の7県に大雨特別
警報を発表し、最大級の警戒をよびかけた。

7月3日から7月31日までの総降水量は、九州南部、九州北
部地方、東海地方、及び東北地方の多くの地点で、24、48、72
時間降水量が観測史上1位の値を超えた。また、旬ごとの値と
して、7月上旬に全国のアメダス地点で観測した降水量の総和
及び1時間降水量50mm以上の発生回数が、共に1982年以
降で最多となった。

この大雨により、球磨川や筑後川、飛騨川、江の川、最上川
といった大河川での氾濫が相次いだほか、土砂災害、低地の
浸水等により、人的被害や物的被害が多く発生した。



出典：気象庁HP

7月4日5時 3時間降水量（解析雨量）

◎TEC-徳島「令和2年7月豪雨支援」の派遣状況

○災害復旧支援（土木部門）

派遣期間 令和2年11月1日～令和5年3月31日

派遣人数 延べ3名

◎被災状況・活動状況



佐敷川（熊本県芦北郡芦北町）



関川（熊本県玉名郡南関町）

災害査定状況 TEC-徳島隊員

